

今回の内容：①会議情報、②委員長等記者会見の様様

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第104回消費者安全調査委員会（令和3年4月22日）

- 神奈川県内の幼稚園で発生したプール事故のフォローアップ
平成26年6月に報告書を公表した「神奈川県内の幼稚園で発生したプール事故」のフォローアップとして作成した動画について、事務局から説明があり、公表することについて決定しました。
本動画は調査委員会の得た知識を活用し、溺れ事故を防ぐための監視のポイントについて、説明したものです。
保育所、幼稚園、認定こども園の保育者だけでなく、保護者の皆様にも参考になる内容です。調査委員会のホームページでご覧いただけます。
https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching_material/movie_001/
- 水上設置遊具による溺死事故のフォローアップ
令和2年6月に報告書を公表した「水上設置遊具による溺水事故」のフォローアップについて、先月の調査委員会で行った公開ヒアリングで経済産業省から報告があった取組みに対する評価について審議しました。
事故の再発を防止するための体制の構築について、経済産業省から、「水上設置遊具の安全に関するガイドライン」を作った上で、関連事業者、事業者団体に周知をし、今後は地方公共団体にも周知をしていきたい、という旨の発言があったことを受けて、より具体的な指導體制について、更に確認を求めることとしました。
また、経済産業省のガイドラインには設計に関する安全基準が示されていないほか、ガイドラインにあるサービス面での方策も実効性において課題があることから、更なる取組みを求めていくこととしました。
事故の再発を防止するための体制の構築、安全基準等の整備が不十分であるため、今年度も応急的な再発防止策を実施するよう求めることとしました。
- 自動ドアによる事故
事務局から説明があり、これを基に報告書案の審議を行いました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、申出の内容等が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち6件について調査を行わないこととしました。残りの案件（26件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で、調査委員会において判断していきます。

消費者安全調査委員会の動き

第97号

(令和3年4月22日)

今回の内容：①会議情報、②委員長等記者会見の様様

会議情報

部会の動き

- サービス等事故調査部会（4月上旬に開催）
 - ・ 自動ドアによる事故
事務局から説明があり、これを基に報告書案の審議を行いました。
 - ・ 「神奈川県内の幼稚園で発生したプールの事故」のフォローアップの動画
事務局から説明があり、これを基に審議を行いました。
 - ・ 「水上設置遊具による溺水事故」のフォローアップ
事務局から説明があり、これを基に審議を行いました。
 - ・ 「子供による医薬品誤飲事故」のフォローアップ
事務局から説明があり、これを基に審議を行いました。
- 製品等事故調査部会（4月中旬に開催）
 - ・ 新規選定事案候補
事務局から説明があり、これを基に審議を行いました。

委員長等記者会見の様様

委員会後に委員長等の記者会見を行いました。

詳細は以下をご覧ください。

<https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/statement/2020/>